

8月25日正午必着

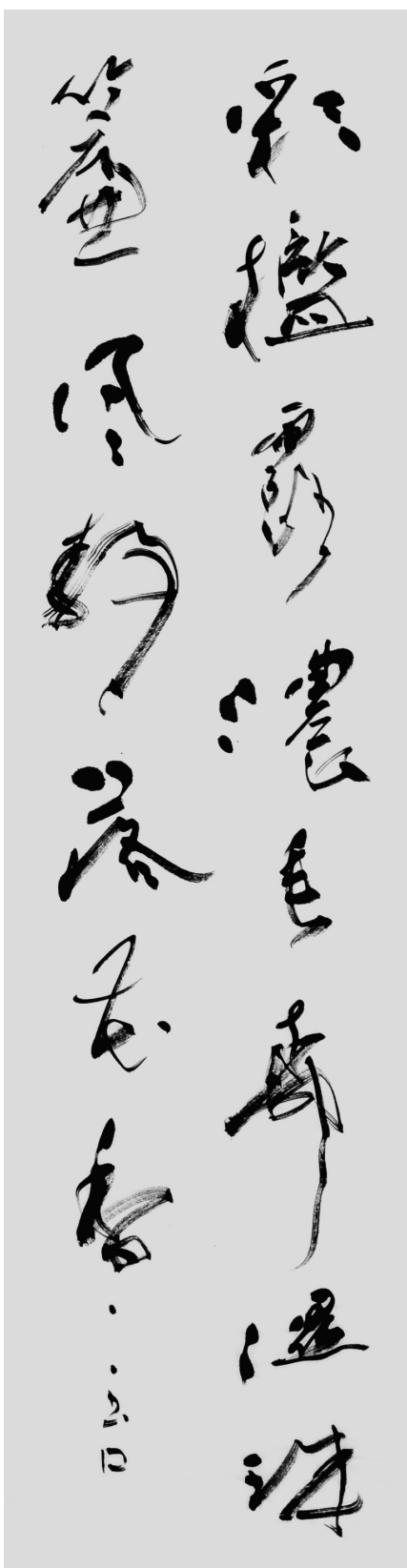
明石春浦先生書



掃_レ地 焚_レ香 讀_レ易 (凌樹屏)

幽居の楽しみ。庭をはき清め、香をたき、そして易経をよむ。

菅井松雲先生書



彩_{さい}檻_{かん}露_{つゆ}濃_こ垂_ま柳_や濕_{かにしてすいりゅうるおい}

珠_{しゅ}簾_{れん}風_{かぜ}靜_{しずかにしてら}落_く花_か香_{かんばし} (周憲王)

美しく塗られた欄干には柳が濃き翠をたれ、珠の簾には花が静かに落ちて香ばしい。

8月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

臨_ニ野水_ニ看_ニ浮雲_ニ

(王世懋)

野水に臨み浮雲を見る

野辺の流れのほとりで浮雲をながめる。

青苔_ニ地上_ニ消_ニ殘暑_ニ
綠樹_ニ陰前_ニ逐_ニ晚涼_ニ

(白居易)

青苔地上殘暑を消し
綠樹陰前晚涼を逐う

青苔のしきつめたあたりには殘暑も消えうせ、夕暮近く
綠樹の陰に涼を追う。

送_ニ裴侍御歸_ニ上都_ニ

(張謂)

裴侍御の上都に帰るを送る

張謂

楚地_ニ勞_ニ行役_ニ

秦城_ニ罷_ニ鼓鼙_ニ

楚地 行役に勞し 秦城 鼓鼙罷む

舟移_ニ洞庭岸_ニ

路入_ニ武陵溪_ニ

舟は洞庭の岸に移り 路は武陵の溪に入る

江月_ニ隨_ニ人影_ニ

山花_ニ趁_ニ馬蹄_ニ

江月 人影に隨い 山花 馬蹄を趁う

離魂_ニ將_ニ別夢_ニ

先爾_ニ到_ニ關西_ニ

離魂と別夢と 爾に先んじて 關西に到らん

夕顔_ニの花_ニほの白_ニく

たそがれて 清しと思ふ

月立ちにけり

(島木 赤彦)

かぎりない潮騒が海の幸福を響かせる (前田鐵之助)

明石幸子書

半紙部規定課題A

8月25日正午必着

雪風
起無
残

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

8月25日正午必着

行書

風兼殘
雪起

隸書

風兼殘
雪起

明石春浦先生書

草書

風兼殘
雪起

行草書

風兼殘
雪起

地上見たすかぎり朝の日ざしが満ちわたり 空のはてに昨夜来の霧も消え去った
風は残雪をまじえつつ吹き起り 河の水はくだけた水を浮べつつ流れる
北方の宮門に心のすべてを捧げているが 南を指してなおも旅中の身の上
高みに上って見はるかせば、もの思いははてしなく 憂愁の心を癒すところをどこに見出せよう

冬日野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風兼殘雪起

河帶斷冰流

北闕馳心極

南圖尚旅游

登臨思不已

何處可消憂

冬日の野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風は残雪を兼ねて起り

河は断水を帯びて流る

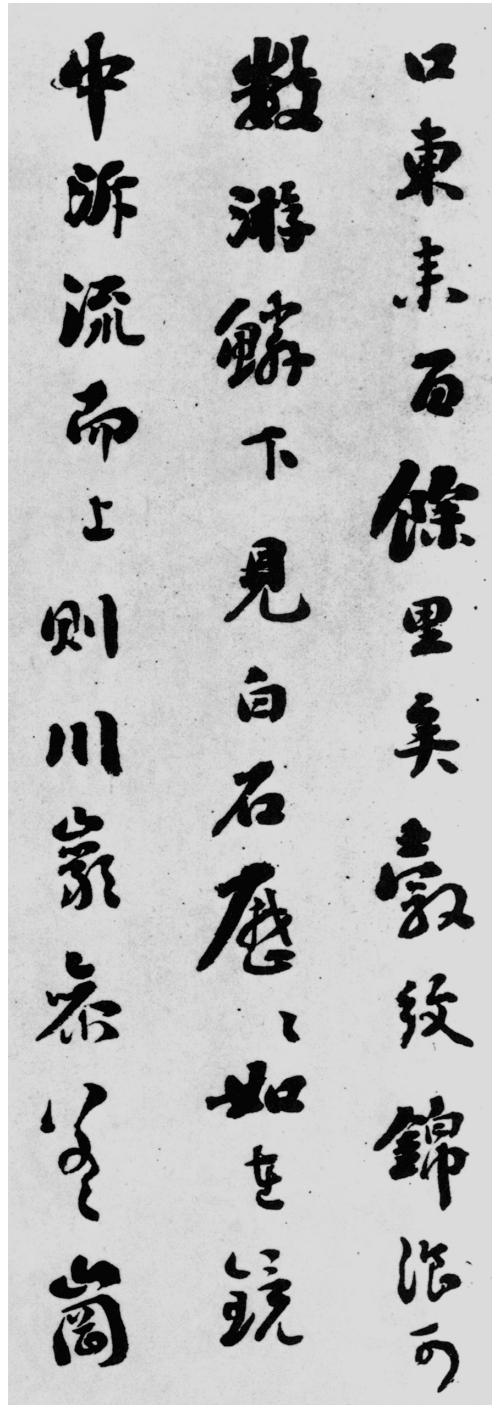
北闕心極を馳せ

南図尚お旅游す

登臨して 思い已まず

何れの処にか 憂いを消す可き

8月25日正午必着



口、東来百余里矣、穀紋錦浪、可数游鱗、下見白石、歷々如在鏡中、泝流而上、則川巖參差、崗（岫繁繞、
（率）口に（至る）東に來りて百余里なり矣。穀紋錦浪、游鱗を数う可く、下に白石を見れば、歷々として鏡中に在るが如し。流れを泝ぼり
上れば、則ち川巖は参差として、崗（岫は繁繞す。）

三浦士岳先生臨書

清 劉墉・雜帖冊

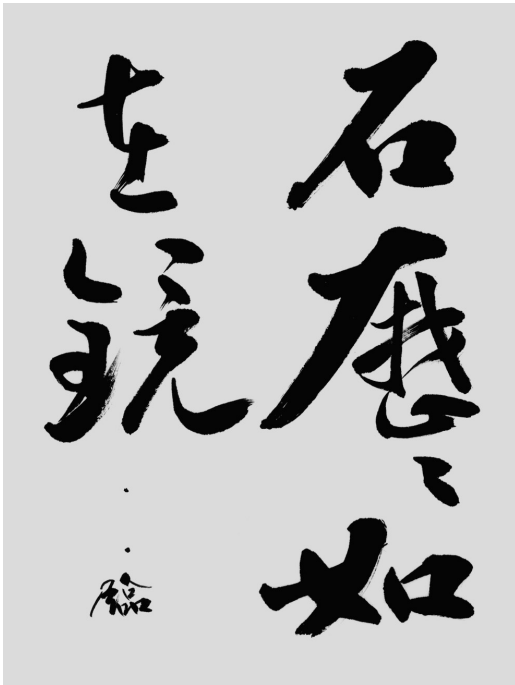
劉墉（一七一九〜一八〇四）山東省諸城の人。字は崇如、はじめ木庵と号し、のちに石庵と改めた。ほかに青原、香巖、日觀峰道人などと号した。

代々貴族の家柄で、父の劉統勲は東閣大学士という官職にまなつた人で、劉墉はその長子として生まれた。父に劣らず徳望があり、累進して体仁閣大学士となり、のちに太子少保が加えられたという。

彼は經史百家に通じ、詩文にすぐれ、特に書をよくしたことで名高い。はじめ董其昌、趙子昂を学び、壮年になり蘇東坡、黃山谷を学び、その後、魏晉の古法におよんで、彼の書は確立されていったと言われる。一字一字に工夫を凝らし、同じ文字においては特に大小肥瘦や結体の變化に氣を配っている。明代の連綿草のような派手さとは対照的に想いを内へ籠めた朴訥とした重厚さと深い情味を感じさせる。漆のごとき濃墨を用い、濃墨宰相と称された。

（春濤）

（下に白）石を（見れば）歷々として鏡（中に）在るが如し。



做書參考

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

百餘里矣。穀紋錦浪可數游
鱗。下見白石磨，如在鏡

暮雨潮生瓜步暮山梅繞雪無城
惆悵離舟別後江梅南烟古鐘聲

暮雨潮生二瓜步。

しゅんざんきはぶじやうをめぐる
春山樹繞二蕪城。

惆悵離舟欲發。

江南煙寺鐘聲。
（高青邱）

※劉墉の雰囲気には普段勉強しているものを加味して制作してみました。

8月25日正午必着

教育部毛筆

眺望

ちょう
眺

ぼう
望

中学一年

雨宮春聲先生書

沙漠

さ
砂

ばく
漠

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



なか
仲

ま
間

小学五年

榎戸春龍先生書



りょ
旅

けん
券

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

8月25日正午必着

東西

とう
東

さい
西

小学三年

藤田幸春先生書

黄金

おう
黄

こん
金

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

あ さ 小学一年・幼年



森戸春濤書

だい おう 大 王 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

8月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

深海魚にはかわった
形をしたものが多い

小学五年

世界中から人が集ま
るリゾート地ハワイ

小学六年

成功も失敗もすべては
本人の心がけによる

中学

日本人は文字の美しさを
愛する民族です

一般(級位)

朝宵を青年のごとく起臥してひぐらし鳴かぬ夏ふけむとす

一般(段位)

朝宵を 青年のごとく 起臥して ひぐらし鳴かぬ 夏ふけむとす (齋藤茂吉)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

海	の	見	え	る	テ	ラ	ス
で	食	事	を	し	ま	し	た

小学四年

水	車	の	お	と	が
森	に	こ	だ	ま	す
				る	

小学三年

も	ん	だ	い	の
き	方	を		教
				わ
				る
				と

小学二年

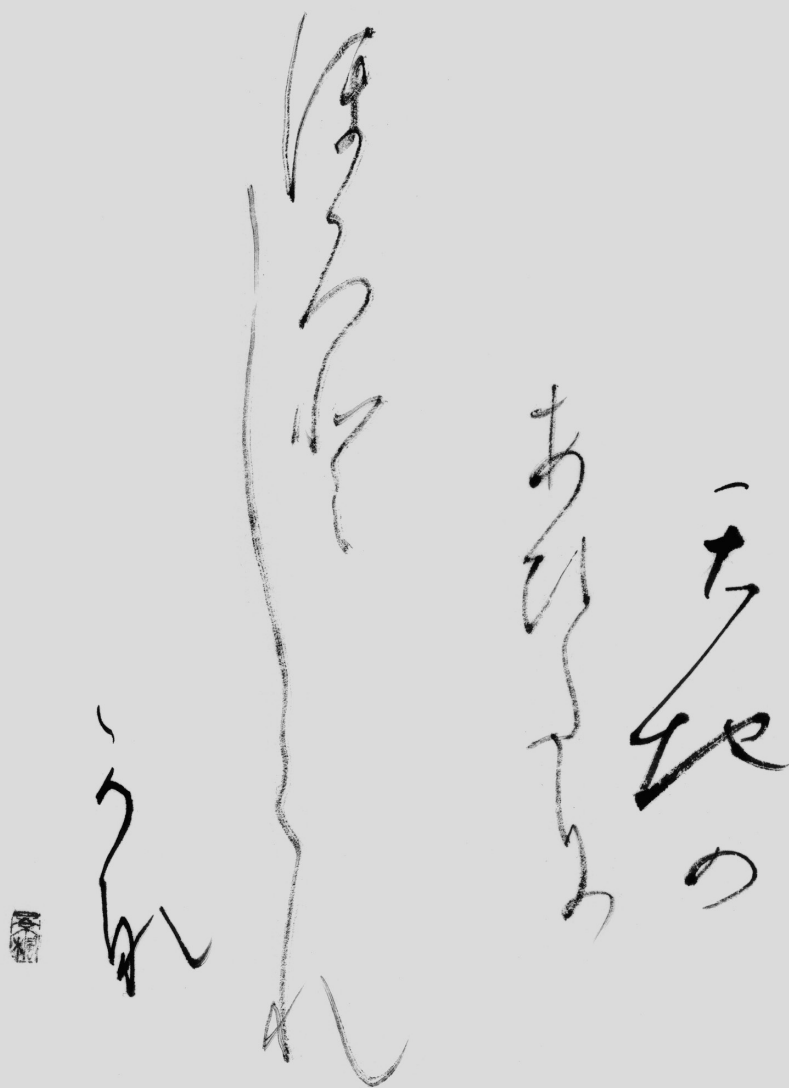
ま	ど	を		あ
か	ぜ	の	音	を
				き
				け
				て

小学一年

う	ら	の		は
で		せ	み	が
				な
				く
				し

幼年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



天地の
あひだに
ほろとし
ぐれかな
(高浜虚子)

岩本景楓先生書